

[001] 九州大学低温センターだより表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/14770>

出版情報：九州大学低温センターだより. 1, 2007-03. 九州大学低温センター
バージョン：
権利関係：

編集後記

西暦2006年4月、九州大学低温センターとして出発し、年度末には伊都地区にも施設・設備とも完成することとなりました。(おめでとうございます。)

そこで、西暦2000年10月記念すべき「九州大学極低温実験室だより」を創刊して以来No6まで発刊しましたが、装いも新たに「九州大学低温センターだより」と改め創刊しました。極低温物性を中心とした興味深い内容の記事を掲載頂きました皆様には深く感謝いたします。これまでと同様に九州大学内外の研究者、大学院生の方々にご愛読願えればと思います。

私、平成4年に旧理学部極低温実験室へ移動してから今年度3月に退職しますが、装置の大型化による寒剤の供給量増の依頼(当時はマグネット入りのガラス容器持参に0.3%~2.7%供給が主で現在は60%容器)、ヘリウム液化装置のトラブル(平成6年11月の液化機本体を大阪へ持ち帰り修理中、阪神大震災の遭遇による予想外の遅れ、エンジンの回転制御用モーターからの火災等)によるいろいろな思い出がありました。その度にユーザーの皆様には不自由な思いをさせましたことをお詫び申し上げます。

来年度から箱崎センターの供給体制は2名となりますが、これからは機動力のある優秀な若手に期待したいと思っております。ただし、液化装置だけは年をとっていきますが、長く生かすか殺すかはユーザーの協力による事もおわずれなく。

(T・S)

九州大学低温センターだより 創刊号

2007年3月発行

発行者 九州大学低温センター
発行責任者 和田 裕 文
編集責任者 矢山 英 樹
〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号
TEL (092) 642-2701
FAX (092) 642-2701

印刷所 (株)サガブリんティング
〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田909番地
TEL (0952) 34-5100
FAX (0952) 34-5200